

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成28年5月19日 (2016.5.19)

【公表番号】特表2015-514074(P2015-514074A)

【公表日】平成27年5月18日 (2015.5.18)

【年通号数】公開・登録公報2015-033

【出願番号】特願2015-501926(P2015-501926)

【国際特許分類】

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 P 17/00 (2006.01)

A 6 1 K 38/00 (2006.01)

A 6 1 K 47/48 (2006.01)

A 6 1 K 47/42 (2006.01)

A 6 1 K 47/34 (2006.01)

A 6 1 F 13/00 (2006.01)

A 6 1 F 13/02 (2006.01)

A 6 1 F 13/12 (2006.01)

C 0 7 K 14/00 (2006.01)

C 0 7 K 14/195 (2006.01)

C 0 7 K 14/33 (2006.01)

C 0 7 K 14/46 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 45/00

A 6 1 P 17/00

A 6 1 K 37/02

A 6 1 K 47/48

A 6 1 K 47/42

A 6 1 K 47/34

A 6 1 F 13/00 3 5 5 G

A 6 1 F 13/02 3 1 0 D

A 6 1 F 13/12

C 0 7 K 14/00 Z N A

C 0 7 K 14/195

C 0 7 K 14/33

C 0 7 K 14/46

【手続補正書】

【提出日】平成28年3月22日 (2016.3.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

対象の皮膚に局所塗布し、前記対象の皮膚における 1 つ又は 2 つ以上の皺の外観を低減させるための、少なくとも一種の化学的神経麻痺薬を含む局所組成物の美容的又は非治療的使用であって、前記対象の皮膚の領域における皺分布を特定するステップであって、前記皺分布が、前記対象の皮膚領域内になぞることができる輪郭を有する 1 つ又は 2 つ以上

の皺を含むステップと、前記少なくとも一種の化学的神経麻痺薬及び前記化学的神経麻痺薬の経皮投与のための有効量の正に荷電したポリマー担体を含む局所組成物を、前記皺分布中の前記1つ又は2つ以上の皺のなぞることができる輪郭上及びそれに沿って直接局所塗布しながら、前記皺分布中の前記1つ又は2つ以上の皺の位置に基づき、かつ前記1つ又は2つの皺に対応する下層にある筋肉の解剖学的構造とは無関係に、前記皺分布中の前記1つ又は2つ以上の皺の輪郭をなぞり、前記対象の皮膚における前記皺分布中の前記1つ又は2つ以上の皺の外観を低減させるステップとを含む、前記使用。

【請求項2】

皺分布が、対象の顔、頭、首、手、足、肩、胸、又は背中に存在する、請求項1に記載の使用。

【請求項3】

皺分布が、外眼角のライン、眉間のライン、前額部のライン、広頸筋のライン、鼻唇のライン、又は口周囲の唇のラインを含む、請求項2に記載の使用。

【請求項4】

皺分布中の1つ又は2つ以上の皺が、対象の顔における外眼角のラインを含む、請求項3に記載の使用。

【請求項5】

少なくとも一種の化学的神経麻痺薬が、

(a) ボツリヌス毒素、サキシトキシン、破傷風毒素、テトロドトキシン、及びそれらの組合せ；又は

(b) 組換えボツリヌス毒素又は改変されたボツリヌス毒素から選択される、請求項1～4のいずれかに記載の使用。

【請求項6】

化学的神経麻痺薬が、ボツリヌス毒素である、請求項5に記載の使用。

【請求項7】

ボツリヌス毒素が、ボツリヌス毒素A、B、C₁、D、E、F、及びGからなる群から選択される、請求項6に記載の使用。

【請求項8】

ボツリヌス毒素が、ボツリヌス毒素A型である、請求項7に記載の使用。

【請求項9】

正に荷電したポリマー担体が、少なくとも1つの正に荷電した効率基を結合した正に荷電したポリペプチド又は正に荷電した非ペプチド性ポリマーを含み、前記少なくとも1つの正に荷電した効率基が-(gly)_{n1}-(arg)_{n2}、(gly)_p-RGRDDRRQRRR-(gly)_q、(gly)_p-YGRKKRRQRRR-(gly)_q、(gly)_p-RKKRRQRRR-(gly)_qのアミノ酸配列及びアンテナペディアタンパク質形質導入ドメイン（式中、下付き文字n1は、独立して1～8の整数であり、下付き文字n2は、独立して7～17の奇数であり、下付き文字p及びqはそれぞれ独立して0～20の整数である）からなる群から選択される、請求項6～8のいずれかに記載の使用。

【請求項10】

正に荷電したポリペプチドが、ポリリジン、ポリアルギニン、及びポリオルニチンからなる群から選択される、請求項9に記載の使用。

【請求項11】

正に荷電したポリペプチド又は正に荷電した非ペプチド性ポリマーが、500～500,000Dの分子量を有する、請求項10に記載の使用。

【請求項12】

正に荷電したポリペプチド又は正に荷電した非ペプチド性ポリマーが、500～50,000Dの分子量を有する、請求項11に記載の使用。

【請求項13】

正に荷電したポリペプチド又は正に荷電した非ペプチド性ポリマーが、500～5,000Dの分子量を有する、請求項12に記載の使用。

【請求項14】

正に荷電したポリペプチドがポリリジンであり、少なくとも1つの正に荷電した効率基が、 $-(\text{gly})_{n1}-(\text{arg})_{n2}$ （式中、下付き文字 $n1$ は独立して1～8の整数であり、下付き文字 $n2$ は独立して7～17の奇数である）、又はアンテナペディアタンパク質形質導入ドメインである、請求項10に記載の使用。

【請求項15】

正に荷電したポリペプチドがポリリジンであり、少なくとも1つの正に荷電した効率基が、 $(\text{gly})_p\text{-RGRDDRRQRRR-(gly)}_q$ 、 $(\text{gly})_p\text{-YGRKKRRQRRR-(gly)}_q$ 又は $(\text{gly})_p\text{-RKKRRQRRR-(gly)}_q$ （式中、下付き文字 p 及び q はそれぞれ独立して0～20の整数である）から選択されるアミノ酸配列である、請求項10に記載の使用。

【請求項16】

ボツリヌス毒素が、150 kDのボツリヌス毒素A型神経毒素分子である、請求項15に記載の使用。

【請求項17】

少なくとも一種の化学的神経麻痺薬を含む局所組成物の局所塗布の後に、皺分布に密封包帯を施すステップをさらに含む、請求項1～16のいずれかに記載の使用。

【請求項18】

密封包帯が、ポリマーシートを含む、請求項17に記載の使用。

【請求項19】

(a) ポリマーシートが、セルロース繊維を含む、又は
(b) ポリマーシートが、塩化ポリアルキレン、ポリ乳酸、ポリイソブテン、ポリエチレンービニルアセテート、テフロン、ポリウレタン、ポリエチレン、ポリプロピレン、及びポリスチレンからなる群から選択されるポリマーを含む、請求項18に記載の使用。

【請求項20】

ポリマーシートが、ポリエチレン、ポリプロピレン、及びポリスチレンから選択されるポリマーを含む、請求項19に記載の使用。

【請求項21】

ポリマーシートが、粘着剤を含有する、請求項18に記載の使用。

【請求項22】

密封包帯が、有効量の化学的神経麻痺薬を皮膚に浸透させるために十分な期間前記皮膚に留まる、請求項17～21のいずれかに記載の使用。

【請求項23】

化学的神経麻痺薬がボツリヌス毒素であり、正に荷電したポリペプチドがポリリジンであり、少なくとも1つの正に荷電した効率基が、 $(\text{gly})_p\text{-RGRDDRRQRRR-(gly)}_q$ 、 $(\text{gly})_p\text{-YGRKKRRQRRR-(gly)}_q$ 又は $(\text{gly})_p\text{-RKKRRQRRR-(gly)}_q$ （式中、下付き文字 p 及び q はそれぞれ独立して0～20の整数である）から選択されるアミノ酸配列であり、期間が、5分～4時間の範囲である、請求項22に記載の使用。

【請求項24】

期間が、30分である、請求項23に記載の使用。

【請求項25】

ボツリヌス毒素である少なくとも1つの化学的神経麻痺薬を含む局所組成物の、対象の皮膚の1つ又は2つ以上の皺の外観を低減するために前記局所組成物を局所塗布することを含む化粧的、非治療的方法における使用であって、前記方法が、前記対象の皮膚の領域における皺分布を特定するステップであって、前記皺分布が、前記対象の皮膚領域内になぞることができる輪郭を有する1つ又は2つ以上の皺を含むステップと、ボツリヌス毒素である少なくとも1つの化学的神経麻痺薬、及び前記化学的神経麻痺薬の経皮投与のための有効量の正に荷電したポリマー担体を含む前記局所組成物を前記皺分布中の前記1つ又は2つ以上の皺のなぞることができる輪郭上及びそれに沿って直接局所塗布しながら、前記皺分布中の前記1つ又は2つ以上の皺の位置に基づき、かつ前記1つ又は2つの皺に対応する下層にある筋肉の解剖学的構造とは無関係に、前記皺分布中の前記1つ又は2つ以上の皺の輪郭を局所的になぞり、前記対象の皮膚の前記1つ又は2つ以上の皺の外観を低

減させるステップとを含む、前記使用。

【請求項 26】

ボツリヌス毒素が、150 kD のボツリヌス毒素 A 型神経毒素分子である、請求項 25 に記載の使用。